

三原市久井歴史民俗資料館 vol.43

モーモー通信



昔話にでてくる道具 ①

みな 皆さんは、たくさんの昔話^{むかしばなし}を読んだこと
があると思います。そこに登場する道具^{どうぐ}には、
話の鍵^{かぎ}をにぎる大切な役割^{たいせつ やくわり}があったり、その
時代の生活の様子^{じたい せいかつ ようす}が映し出されたりすること
があります。

久井^{ふる}に古くから伝わる昔話「中野の出雲^{なかの いすも}
石^{いし}」をご存じでしょうか。昔、縁結びの出雲^{えんむす いすも}
大社^{たいしゃ}にお参りした親子^{まい おやこ}がいました。息子が帰^{かえ}
り道、歩けなくなった母をてんびん棒^{ほう なえ}の苗か
ごにのせ、もう片方^{かたほう}には石^{いし}をのせ歩いて帰^{かえ}
りました。途中で母も元気^{げんき}になり、石^{いし}を道ばた
に置いて帰路^{おきろ}につくと、その後孝行息子^{こうこうむすこ}には、
よいお嫁さん^{よめ}が来た^きというお話です。



出典：西原久登著「ふるさと久井昔話」昭和53年発行

てんびん棒と苗かご

てんびん棒とは、ものをつるして運ぶ^{はこ}ための木の
棒です。棒の真ん中^{まなか}を肩^{かた}にあてて、前後^{ぜんご}に苗か
ごやおけをつり下げて運びます。かごの中には、
運びたいものをなるべく同じ重さ^{おも}になるように
入れます。遊具^{ゆうぐ}のシーソーのようなイメージで
す。「えっさ、ほいさ」と声^{こえ}をだしてバランスをと
り、体を揺らしながら運ぶ^{はこ}ことも。



けいけん^{けいけん}とコツ^{ひつよう}が必要かモー

約60年前に三原^{さつるい}で撮影→



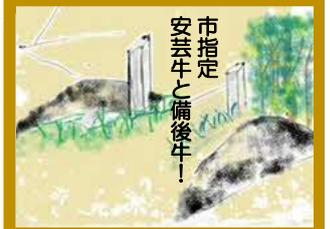
えっさ、ほいさ

出雲岩

なかの いすもいし

「中野の出雲石」のお話にはつづきがあります。道ばたに置いた石は、その後だんだん大きくなっていったのです！その石は伝説の「出雲岩」として、中野地区の田の中にたたずんでいます。

久井の岩石を自慢したい！



大きくて、びっくり！



ぬりえをしよう！

資料館では、ぬりえコーナーがあり楽しんでいただけます！完成したぬりえを受付にもってきてくれたら、資料館特製グッズをプレゼント。（数には限りがございます。）

おうちでぬって持ってきていただいてもー↓



ぬりえダウンロード先

<https://www.city.mihara.hiroshima.jp/site/kyouiku/120105.html>

つづきは資料館で ...

〒722-1303

三原市久井町下津 1397

三原市久井歴史民俗資料館

TEL・FAX 0847-32-7139

休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合、翌日休館）、年末年始

アクセス 中国バス久井中停留所下車

いあんない図

